

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

九月に入り、朝夕過ごしやすくなりましたが、お肌に比べついつい忘れがちな髪は、夏の間、強い日差しや紫外線に晒され、気付かぬ内に深刻なダメージを受けています。

この時季にしっかりとお手入れして、ダメージを食い止め、冬の乾燥に備えましょう。

髪のダメージはこの季節に

毎年、この季節になると、夏の疲れがどつと出てきて体調が優れない、という方が増えてきます。

同じように、髪のダメージが急に目立ちはじめた、という方が増えるのも、ちょうど今頃です。

髪の傷みが目立ち始めるこの時

季に、しっかりと効果的にお手入れをしてダメージの進行を食い止め、冬の乾燥に備えましょう。

傷んだ髪を放っておくと

髪はお肌とは違い、生えている部分には栄養は運ばれず、傷んでしまうと自然治癒する事が出来ません。



一度傷んでしまった髪は、放っておくと、ダメージを受けて開いたキューティクルの隙間から、どんどん栄養成分が流れ出て、スカスカになってしまい、そこからさらに乾燥が進み、と悪循環に陥ってしまいます。正しいお手入れでダメージの進行を防ぎましょう。

秋の抜け毛は自然現象？

秋は元々、髪の生え替わりの季節ですから、普段よりも抜け毛の数が増えても心配はいりません。

九月から十一月の換毛期と呼ばれる期間は、それ以外の時期と比べて倍くらいまでの数の抜け毛が正常範囲となります。

秋こそしつかり髪のお手入れを！

夏のダメージが現れ、抜け毛も増えるこの時季、髪のコンドিশョンを整えるために、しつかりとお手入れしておきたい季節です。

今の時季にしつかりお手入れすることで、傷んだ髪を守りつつ、これからの冬に備えて乾燥に負けないういキキキと艶やかな髪を手に入れましょう。

◆髪のお手入れで

大切なポイントとは

この季節のお手入れは、夏のダメージを食い止め、冬の乾燥から髪を守るためにとても重要です。

ダメージを広げず、健康で艶やかな髪を取り戻すポイントは、肌の健康を保ち血行を促進する事と、キューティクルを閉じて髪を

乾燥から守る事です。

◆秋の抜け毛

どこまでが正常？

秋は元々、髪が生え替わりの季節ですから、日に50本〜100本位が正常範囲の抜け毛も、この季節に限っては100本を超え、200本くらい迄なら心配はいりません。

気をつけたいのは、本数よりも、

どんな髪が抜けているか。

成長途中の短い抜け毛や細い抜け毛が増えてきたら要注意です。

抜け毛を食い止めるためのお手入れを始めましょう。

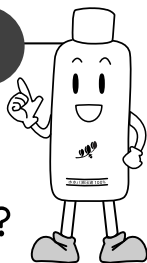
◆細い抜け毛は

血行不良のサイン？

毛穴の汚れや血行不良で地肌の状態が悪くなると、毛根に栄養が



おしえてホホバ君!



リンス・コンディショナー トリートメントの違いとは?

シャンプーの後に何を使えば良いか、とお悩みの方は多いようですので、今回はそれぞれの特徴をご説明します。

【リンス】

髪表面を薄くコーティングしてキューティクルを摩擦から守る働きをします。

【コンディショナー】

呼び方が違うだけで基本的な用途、働きはリンスと同じ。

【トリートメント】

髪内部まで浸透して美容成分を届けてくれるので、表面だけでなく、髪の内側からダメージを補修してくれます。

艶やかで豊かな髪づくりには、ホホバ配合で潤いを守る頒布会的美髪トリートメントがおススメです。まだお試していない方は、是非一度、お試しくださいませ。

薬用アイリス
美髪トリートメント
350g



シャンプーする前や、お休み前のリラックスタイムに頭皮をマッサージする習慣をつけましょう。頭皮が固くなると、血流が滞っ

◆お家でセルフ ヘッドマッサージ

行き届かず、成長途中の髪が抜けてしまう事があります。細い、短い抜け毛がある場合は地肌の状態に注意しましょう。

シャンプー前は、たつぷりのホホバで頭皮をしつかり揉みほぐし、毛穴の奥までホホバを浸透させてからシャンプーすると、頭皮の血行が改善されます。

て髪はもちろん、お顔のたるみやシワにも影響してくるので、要注意です。

シャンプー前は



そして重要なポイントはずすぎ、しつこい位入念に行いましょう。

◆濡れた髪は危険! ドライヤーで

髪は濡れている間はキューティクルが開いた状態で非常に傷つきやすく無防備な状態です。

熱のダメージを防ぎ、素早く乾かして髪を守るには、髪から20センチ以上離し、地肌から乾かすようにすると良いでしょう。